

粉体塗料のパフォーマンスを 最大限に引き出す万能パテ

※液状塗料にも適用可

粉体塗料に使える
パテってあるの？

万能 ポリパテ ECO

200°C×30分
高温焼付
OK



ノンスチレン型 不飽和ポリエステル樹脂系パテ

ポリパテ硬化剤エロ―標準型
ポリパテ硬化剤エロ―速乾型
ECOポリパテうすめ液

ワキ(発泡)を
低減

作業効率を
改善したい

万能ポリパテECOの特長

上塗り
常乾塗料から
粉体塗料まで
適用可

粉体焼付時の
ワキ(発泡)が
少ない

耐熱性が
優れる
(200°C×30分)

焼付時の
ヤセが少ない

研磨作業性が
優れる

付着性が
優れる

■使用方法

ご使用前に、パテベースをよくかき混ぜてから必要量だけ取り出してください。

1

パテベース100に対し、ポリパテ硬化剤エロ―2~3% (重量比) を加え、十分に混ぜ合わせます。

2

初めにパテを充分なじませる様に塗り、次に必要な厚みになるよう塗布します。

3

一度に厚付けすると内部に気泡ができて素穴を生じやすいので、2~3回に分けてヘラ押さえを行っ

4

10°C 15~20分 30°C 3~6分

混合後は、可使時間内に使い切ってください。

5

注 ■ 硬化剤は、120°C以上で自然発火し、急激に分解する成分を含んでいますので、絶対に火気を近づけないでください。 ■ ベースは、長期間保存すると乾燥不良やゲル化を起こしますので、ご注意ください。硬化剤は長期間保存すると効力が減退します。 ■ 低温時、粘度が高い場合には上限2% (重量比) を目安にうすめ液を添加して下さい。

万能ポリパテECO

ノンスチレン型 不飽和ポリエステル樹脂系パテ

■コードNo.・荷姿

旧久保孝Pコード	製品名	荷姿
703-0123	万能ポリパテECO	3kg 専用缶
703-9340	ポリパテ硬化剤エコー 標準型	100g チューブ
703-9341	ポリパテ硬化剤エコー 速乾型	100g チューブ
703-0009	ECOポリパテうすめ液	0.8L 角缶

■塗料性状

うすめ液は低温時、粘度が高い場合に上限2%(重量比)を目安に添加してください。

	主剤	硬化剤	うすめ液
性状	ペースト状	ペースト状	液体
色	グレー	黄色	無色
消防法	指定可燃物 / 可燃性固体類	第5類 第2種自己反応性物質	第4類 引火性液体 第2石油類 危険等級Ⅲ

■乾燥時間

温度	硬化剤		乾燥性	
	タイプ	添加量	可使用時間	研磨可能時間
10℃	速乾型	3%	15~20分	120分以上
20℃	標準型	2%	5~8分	60分以上
30℃	標準型	2%	3~6分	40分以上

※60℃×10分の強制乾燥で研磨可能です。

■塗膜性能

パテ	粉体仕様	溶剤 焼付仕様	溶剤 常温乾燥仕様
		万 能 ポ リ パ テ E C O	
中塗	—	焼付型エポキシ樹脂塗料 ニッシンバインダー等	常乾・焼付兼用エポキシ樹脂塗料 エッジプライマーECO
上塗	粉体塗料 ニッシンパウダーPE等	焼付型アクリル樹脂塗料 アクリオン等	2液型アクリルウレタン樹脂塗料 ポリオートECO
付着性	SPCC	25/25	25/25
	ボンデ鋼板	25/25	25/25
	A5052P	25/25	25/25
	SUS304	25/25	25/25

上記は一般市販の代表的な素材を用いて弊社で行った試験結果です。ご使用の際には十分な予備テストを行ってください。
パテ膜厚:0.3mm / 付着性:クロスカット法 2mm間隔 格子数25個

■取り扱い上の注意

※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。

【パテベース】 [うすめ液]

吸入すると中毒その他の健康被害を起こす可能性がありますから、取り扱いには下記の注意事項を守ってください。

- 火気のあるところでは使用しないでください。
- 取り扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮ふにふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、前掛け等を着用してください。
- 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いてください。
- よくフタをし、冷暗所で貯蔵してください。
- 子どもの手の届かないところに保管してください。
- 中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の材料と混合しないでください。

【硬化剤】

皮ふに付着したり、目に入ったりすると炎症を起こす場合がありますから、取り扱いには下記の注意事項を守ってください。

- 火気のあるところでは使用しないでください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮ふにふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、前掛け等を着用してください。
- こぼれたときには、砂等を散布した後、布類(ウエス)で拭きとってください。布類は水に浸して処置してください。そのまま乾燥状態で放置すると分解発火することがあります。
- 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 皮ふに付着した場合には、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷が生じたときには、石の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、流水で15分以上洗眼し、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 火災時には、泡又は粉末消火器を用いてください。粉末消火器、ハロン消火器を使用した場合には、再燃を防ぐため、水で十分冷却してください。
- よくフタをし、冷暗所で貯蔵してください。
- 子どもの手の届かないところに保管してください。
- 指定された以外の材料と混合しないでください。又、混触危険のある還元剤、金属塩類、アミン類とは一緒に貯蔵しないでください。
- 取扱い中の喫煙はさけてください。

関西ペイント販売株式会社
ニッシン事業部門

※2026年4月以降製造された製品には新たに関西ペイントの製品コードが付与されますが、誤注文防止のため、カタログおよび製品ラベルの品名には旧久保孝ペイントの製品コードを併記しております。コードの取り違えにご注意ください。